

2019年4月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 4月えんだより

年主題 『ことばに満たされて～ひびきあう～』

年主題聖句 「その人は流れのほとり植えられた木」 < 詩編 1編 3節 >

春の暖かな陽ざしを感じます。新入園児の皆様、ご入園おめでとうございます。また一つ学年が上がリ、進級された皆様、ご進級おめでとうございます。喜び祝うことの節目の時ですが、新しい環境や慣れない生活リズムに不安を覚える方もおられるかもしれません。どうぞ、一つ一つを語り合いながら解消し、一日一日が満たされていくようにと願います。

さて、日本には四季があり、季節ごとに色とりどりの自然の美しさを見る事ができます。特に、春の時期には、桜の花が咲くことを待ちわびる風情があります。働いている方々の多くは、この年度末や年度初めに忙しい時を過ごされている方も多いかと思いますが、ふと見上げますと咲き誇る花々が心を潤すことがあるのではないのでしょうか。私事で恐縮ですが、冬は家の1階が雪で埋もれるような田舎で暮らした幼い頃には、陽ざしの強さや村を歩くと香る自然の匂いから春を感じたものでした。何となく嬉しくなり、心までも浮き浮きしていたことを思い出します。自然の移り変わりだけでも、人は色んな心を得ていきます。

2019年度のキリスト教保育における主たるテーマは「ことばに満たされて」「ひびきあう」です。時代の中で言葉を通して語り合うことの物足りなさや難しさ、又心を響き合うことの足りなさが背景にあるといわれます。子ども達にとって、言葉のやりとりは、とても重要です。乳幼児期の子ども達には、語りかけられることで安心して、喜び合い、また覚えたての言葉を使い、伝わる、伝わらない経験の中で、互いの心が響きあって、心身の成長の栄養になっていくのです。四季に変わりゆく感情の変化のように、人々の言葉の奥底にある真の心が大切であり、それは人間の目には隠れて見えません。

しかし、天にいる神様は全てを見てくださいます。どんな時にも、どんな状況であっても私達に生命の息吹を与えてくださり、この世に必要とされて我々に生命を与えてくださった神様は、いつも語りかけ、生命を潤してください。礼拝を通じて、神様の御言葉を通じて、神の言葉と意思を知り、そして私達が語り合うことを通じて、心潤う園になりますように、歩みを強めていきたいと願います。新たに始まる2019年度もご支援、ご協力をいただきますよう宜しくお願いいたします。

4月の聖句 「見よ、わたしはエルサレムを喜び踊るものとして その民を喜び楽しむものとして創造する」 <イザヤ書 65章 18節>

4月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	おはよう	であう
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 自分が受け入れられていることを感じ、安心する</li> <li>* 新しく出会った人やものに親しみをを感じる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 保育者の姿や祈りを通して神様と出会う</li> <li>* 友だちや保育者に親しみをもつ</li> <li>* 好きなあそびを見つけ安心して過ごす</li> </ul>
讃美歌	ひとりひとりのなをよんで	ひとりひとりのなをよんで 幼児讃美歌 II 20